

2025年3月25日

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 合格体験記

1級受検番号 NO. 03F1620165

氏名 H.S. (東京在住)

■1級技能士を目指したきっかけ

2回目の受験で合格できました。2級取得から今回の1級受検までトータル10年。勉強のきっかけは、職場での対応の在り方に対する疑問があり、学びの必要性を感じた事でした。産業カウンセラー⇒キャリアコン⇒キャリアコンサルティング技能士2級と、資格の勉強をしながら、日頃の対応改善に還元していきました。2級までたどり着いたあとは、当時は家庭の事情もあり、1級チャレンジは考えていませんでした。このまま7-8年経過。
1級チャレンジのきっかけは、コロナ禍での管理職としての高ストレスでした。いままでのやり方が変わり、これからの対応の在り方をきちんと見つめないといけないと強く思い、再チャレンジを決意しました。

■当初の勉強法

家庭の状況を見ながら、2021と2024年度に受験。マスク有り無し両方を経験しました。2021年度はマスク必須時期でしたので、実技では、とにかく身振り手振りで声も大きくすることに気を使いました。鏡を見ながらマスクをしていてもどうすれば良い雰囲気を感じてもらえるか研究しました。前回は、久しぶりの受験で右も左も分からない状態でした。1級キャリアコンサルティング技能士の会の、対面RPとWebでのRPに何度も参加しましたが、最後のRPでも合意形成までできませんでした。試験当日は傾聴につとめ、丁寧に対応するしかなかったのでした。点数は基本的態度と関係構築は70-75点だったと思います。問題把握と具体的展開は58・58。惜しいと言えば惜しい。でも不足は不足。2点の差は結構大きいことは明白です。もっと前から系統的に学ぶべきであったと猛省しました。

■合格のきっかけ

前回の反省から、本腰をいれて勉強することを決意し、「キャリア塾」にフルパックで申し込みました。月1ペースで一日まるまる勉強とRP。なかなか濃く、50代後半での学びとしては、きつかったです(笑)。夏・秋に基本をキチンと身に着け、秋の終わりごろにはRPで事例相談者の問題点を気づきを促しながら指摘し合意形成ができるようになれました。
合格のきっかけは、関係が崩れないまま合意形成⇒具体的展開の型を体得できたことではないかと思っています。その後、何度も失敗と成功を繰り返しながら、励みました。受験当日のRPも、決して上手くいったわけではなかったです。でもキャリア塾を通して体得できた質疑応答で挽回できたのだと思っています。

■論述試験対策

論述は、キャリア塾で設定されている、論述対策回で方法論を学びました。目から鱗でした。アウトプットは、会提供の添削指導をフルパックで申し込みました。需給調整、企業、大学について2ケースずつ添削してもらいました。ある程度の型を学びつつ、自分なりの解釈を詰めていけるように心がけました。
結果、71点。本当に10点プラスでした。やって良かったです。
論述対策は、講義に参加し、方法論だけでも学ぶべきです。もっと前に知りたかった！

■面接試験対策

振り返りにつきます。とにかく、自身の癖や良くない対応をRPのあとにキャリア塾の仲間と先生からシャワーのようにフィードバックを浴び、仲間のRPから素敵な部分を学び振り返りにコメントし共有していく。一人では絶対に得られない学びでした。このときのコメント力や分析力が試験での質疑応答にとっても役立ちました。

いまでも後悔していることが一つ。秋以降、自身の録音をきちんと振り返っていなかったことです。試験後、その日の内に、論述再現とRPの再現をしたのですが、本当に後悔の嵐。こう言えば良かった。問題把握力の部分が質疑応答でかみ合っていなかった。。

せっかく録音したのに、聞き直すだけで、深い振り返りに至っていなかったことに受検後に反省。結果的に合格していますが、いま思い返しても後悔が残っています。これから受検される方は是非、深い振り返りをなさってください。結果的に、RP後の質疑応答での加点に繋がります！

■受検される方へメッセージ

今回の合格率は6.55%。かなり低かったと思います。それでも私が合格できたのは運と縁と自信を信じる力であったのではと思っています。また、今回合格していなかったとしても、今年度の濃い学びに大変満足していたと思います。そして合格するまで何度でもチャレンジしていました。そうしているうちに、運と縁と実力すべてがマッチする時が来ます。

自分にはできないと思わず、やりたいと、1級ホルダーになりたいと思っているなら、是非、飛び込んでみてください。私は本当に再チャレンジして良かったです！